スクールランチの現状と対応、給食費改定に伴う献立の充実について

中学校スクールランチの概要

○給食費（改定後１食 320 円）は、全て食材費として使用しています。食材費以外の、調理に伴う人件費や光熱水費等は本市が負担しています。

○提供しているメニューは、主食（ごはん、パン、めん）、副食（おかず・フルーツ又はデザート等）、牛乳（牛乳代は別途徴収）です。

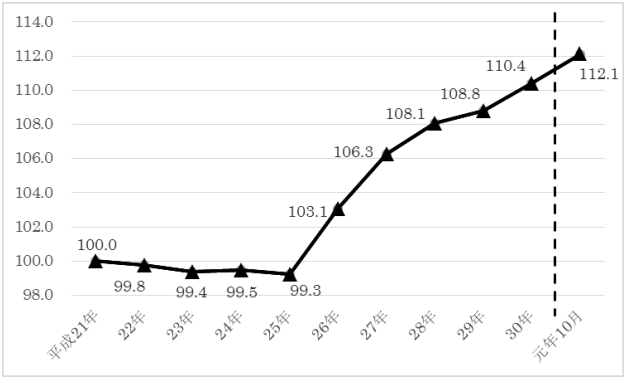
○食材の安全・安心の確保、地産地消の推進などに取り組んでいます。

給食費を取り巻く状況

○平成２１年度の給食費改定以降、消費者物価指数が１０％以上上昇しています。

○同様にスクールランチの使用食材も値上がりしています。

消費者物価指数（食料：全国）　平成 21 年＝100



この状況に対し、摂取基準などに対応するため…

献立の工夫等による主な対応例

（（　）内は平成 21 年度と平成 30 年度の献立の比較）

・単価が高いクロワッサンの提供を取りやめ（㉑ 6 回→㉚ 0 回）

・単価が高い牛肉を鶏肉へ切替（1 食あたり牛肉使用量㉑ 28g→㉚ 3g）

・単価が低いデザートへ切替（提供回数上位 3 品の平均㉑ 42 円→㉚ 29 円）

○食材費の高騰は続いているため、今後も献立の工夫で対応していくことは難しい状況です。

今回の給食費改定により…

給食費改定に伴う献立の充実

○献立の工夫により使用量、回数を減らしていた牛肉等の食材の使用が増え、多種多様な食材から栄養摂取できる献立を提供します。

○デザート内容についても充実を図り、子ども達にとってスクールランチの時間がより楽しく魅力あるものとします。